

昨年6月、中国・大連日報の記者と一緒に本県、秋田、山形の観光地を旅した。東北の自然、食べ物、人の心の温かさを地元の新聞で紹介してもらった。

三内丸山遺跡、八甲田、十和田湖：「すばらしい風景ばかり。ルートを確立すれば、中国から観

東奥春秋

光客が大勢行きますよ。」行く先々で、記者から何度も似たような言葉を聞いた。

先日、その誘客の起爆剤になる明るいニュースが飛び込んできた。青森を舞台にした映画「明日に架ける愛(仮題)」が作られるという。日中友好40周年記念映画で、国内でも異例の規模で公

** 中国へ届け 胸キュン **

開される。既につがる市を中心にロケが始まっており、出演する女優八千草薫さんは会見で、青森の自然に触れて「胸がキュンとなる」と語った。

日本でロケした中国映画といえば「狙った恋の落とし方。」(2008年、中国で公開)が有名だ。歴代興行成績1位を記録し、中国内で釧路、阿寒湖など北海道ブームが巻き起こった。

また、09年冬に韓国で大ヒットしたテレビドラマ「アイリス」は秋田県内でロケが行われ、放映後には田沢湖や乳頭温泉郷などに、韓国からどっとツアー客が押し寄せた。

「明日に架ける愛」は、国境を超えた命のつながりを描く。中国に「胸キュン」を届け、青森ブームを起こしたい。(郷)

日中友好記念映画「明日に架ける愛」

本県ロケ無事終了

来年2月公開に手応え

本県と東京、中国・北京を舞台にした日中友好40周年記念映画「明日に架ける愛」の撮影が、40人態勢で撮影を行い、12日には県庁で制作発表も行った。

「明日に架ける愛」(仮題)香月秀之監督の本県ロケが17日、弘前市の市りんご公園で終了した。約1カ月にわたる本県ロケを終え、主演の市井紗耶香さんは「27年の人生で一番きれいな景色を見ることができた。皆さんに温かく迎えてもらい、良い撮影ができた」と笑顔で語った。映画は市井さん演じるつがる市出身でデザイナーのシングルマザーが中国人残留孤児の祖母、幼なじみの中国人男性との交流を通じて成長する姿を柱に、国境を超えた命のつながりを描く。本県ではつがる市を中心に、弘前市や鱒ヶ沢町で総勢

40人態勢で撮影を行い、12日には県庁で制作発表も行った。

本県最後のロケ地となった同日の市りんご公園は、青空に岩木山がくつきりと浮かび上がる絶好のロケーションとなった。青空と岩木山、咲き始めたリンゴの花の下、主人公が子どもと向き合い、自らを顧みる印象的なシーンを撮影した。



本県での撮影を終え、市井さんは「エキストラに支えられた」と感謝。「鱒ヶ沢町の

弘前市りんご公園で撮影に臨む市井さん(中央)ら

菜の花畑は、27年生きてきた中で一番きれいな景色だった」と振り返った。幼なじみ役のアレックス・ルーさんは県民との交流を楽しんだ様子で、「命のつながりが感じられ、日本と中国の交流に役立つ作品」とPRした。

今後東京などで撮影を続け、2012年2月ごろ、本県を皮切りに日本と中国で公開を予定している。

(稲村千穂)